

マイクロアレイ血液検査 Q&A

Q1. この検査は「がんになりやすい体質」がわかるのですか？

A1. この検査はすでにがんがあることを判別するためのものです。がんになりやすい体質を判別するものではありません。

Q2. 飲んでいるお薬で検査に影響が出ますか？

A2. 副腎皮質ホルモン、免疫抑制剤、抗癌剤、生物学的製剤（インターフェロン、ワクチン、血液製剤、インフリキシマブ）などの投与を受けられている方はお申し出ください。反応に影響がでる可能性があります。（後記〈注〉ご参照ください。）
降圧剤、糖尿病治療薬、ロキソプロフェンは影響を与えません。

Q3. 消化器以外のがんがある場合、反応しますか？

A3. これまでの臨床試験は「消化器のがん」に対して行われましたので、この検査は主に消化器のがんの有無を判定します。しかし、それ以外にがんがある場合でも陽性反応を示す可能性があります。場所を特定することはできません。（臨床データがない為）

Q4. 以前、大腸内視鏡をしたことがあり、大腸ポリープがあるといわれたのですが？

A4. 大腸内視鏡検査でポリープを切除され2年以上が経過されている場合は陰性となるケースもありますが、内視鏡検査を受けることをお勧めします。

Q5. がんの場所などわかりますか？

A5. 胃・大腸・すい臓・胆道と判別できます。ただ、全てに反応がでてしまい、場所を特定できないケースもあります。（35%程度）

Q6. がんの進行度などはわかりますか？

A6. 早期のがんか進行したがんかを判別することができます。

Q7. 早期のがんでもわかりますか？

A7. 臨床試験では早期のがんも陽性反応を示しました。

Q8. 結果が陰性の場合、次の検査まではどれくらいの期間をあけて検査をしたほうがいいですか？

A8. 概ね1年ごとの検査をお勧めいたします。

Q9. この検査を受けることによって内視鏡検査など他の検査を受けなくても大丈夫ですか？

A9. これまでの腫瘍マーカーでは、がんがあるにもかかわらず陰性反応を示す率は、早期がんを中心に半数以上でありました（CEA：73%、CA19-9：49%本臨床試験中）が本検査では1.5%でした。内視鏡検査で発見できる場合もありますので機会があればご受診をお勧めします。

Q10. 以前がんが見つかり手術をしました。再発・転移が心配ですがわかりますか？

A10. 再発・転移の有無を調べるために受けていただくことは可能です。ただし、正確なデータが出ない可能性があるため、がんの手術をしてから2年以上、抗がん剤治療を終了してから1年以上間隔をあけて受けていただくことをお勧めします。

Q11. 陽性の反応が出た場合どうすればいいですか？

A11. 消化器科の専門医をご紹介します。専門医による精密検査を受診されることをお勧めします。

〈注〉詳しい内容、薬剤に関するお問い合わせは、メールにて下記連絡先までお問い合わせください。

藤沢総合健診センター マイクロアレイ血液検査 窓口 山本・賀地（保健師）
Mail:f-junten09@fujisawa-junten.or.jp